

# 問 将来を見据えない 交流館建設はNo

答 住民に説明し、<sup>しゆくしゆく</sup> 粛々と進める



光風会 江田 五六 議員

**議員** 歴史と未来の交流館建設に対する疑問・反対の声が、村政懇談会・議会報告会などで多数寄せられている。納税者の声をどのように取り上げ、反映していく考えか伺う。

**教育次長** 近いうちに住民説明会を行う。そこで、意見・要望を伺い、今後の設計や活動の参考にしたい。

**議員** 基本設計が決定していない。住民の意見要望を聞く前に建設費12億円ありきの実施設計委託料(7400万円)の予算計上は、理解できない。計上した理由を伺う。

**教育次長** 基本設計は概ね完成に近い状態。実施設計に着手するころには基本設計は既に完了しているため、円滑に事務を進めるため、予算計上をした。

**議員** 現在の計画は将来を見据えない規模での建設であり反対。山積する課題を解決し、村民の生活が保障でき、孫子の代にツケを残さない範囲での規模が望ましい。以下の3点を考慮する必要がある。

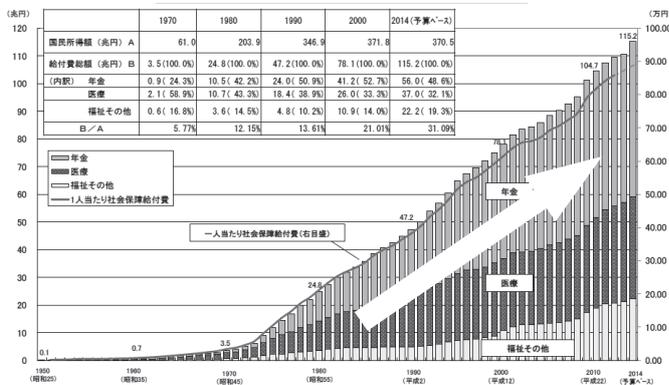
①住民(納税者)の意見や要望を十分に反映する必要がある。

②超高齢化社会、世界に類を見ない人口減少社会を見据えた上で、本村に相応しい規模とすべきである。

③A社会における子どもたちの教育環境は、各コミセン・アイヴィル等の活用による地域密着型のコミュニティスクールが必要である。

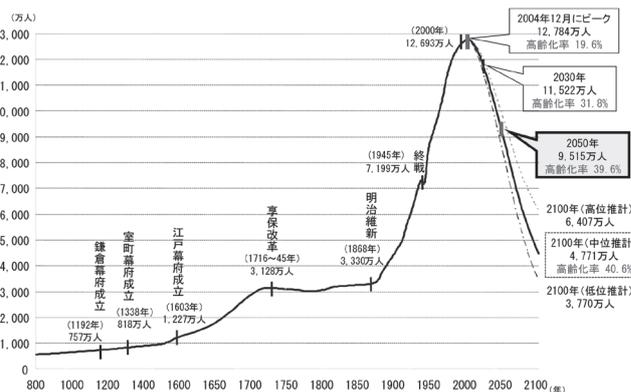
## グラフから考える東海村の将来

社会保障給付費の推移



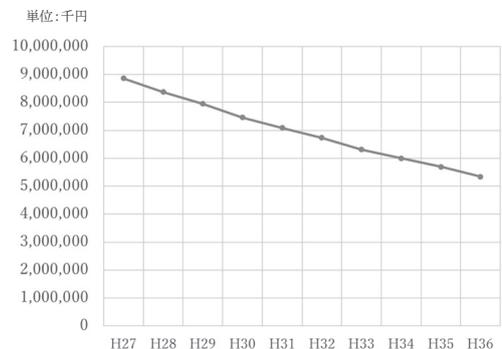
厚生労働省HPより転載

## 我が国の人口は長期的には急減



総務省HPより転載

## 税収入の約7割を占める固定資産税の推移



行政として何も対応しなかった場合、急激な人口減少、超高齢化による社会保障費の増加、そして税収入の70%を占める固定資産税が10年後に40%減少見込み

(H27年3月予算決算委員会資料より作成)